

経営比較分析表（平成30年度決算）

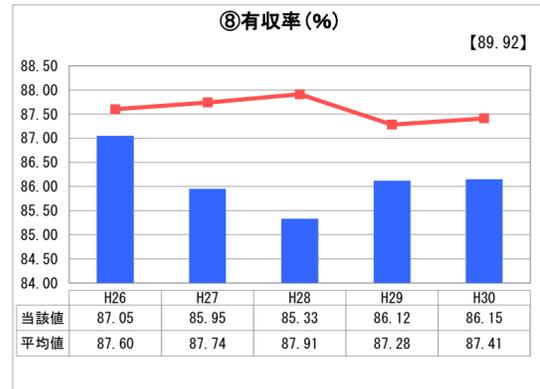
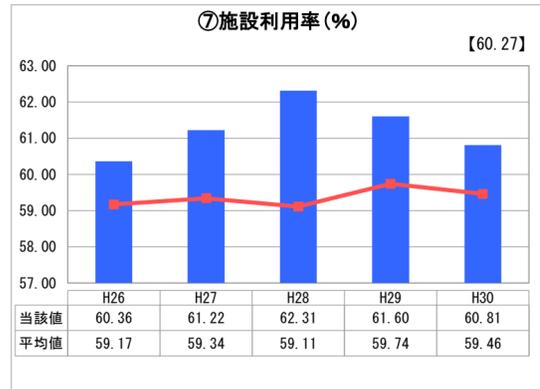
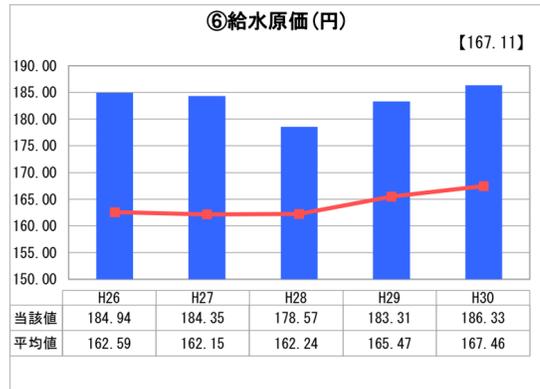
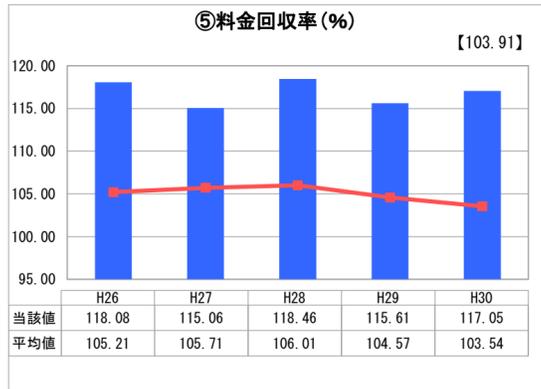
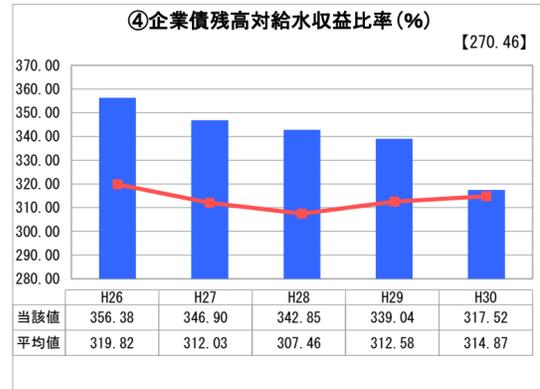
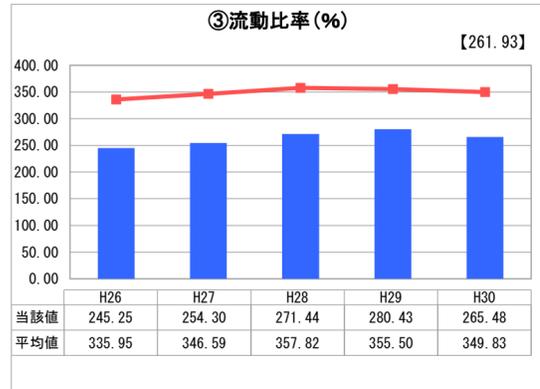
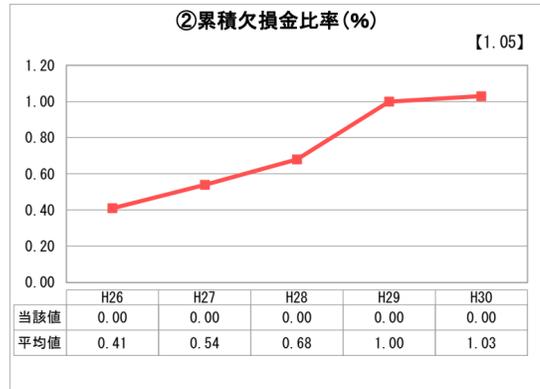
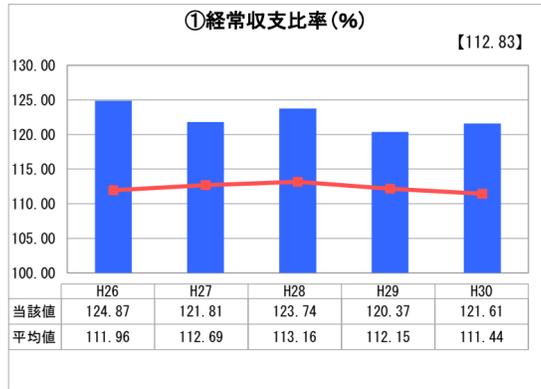
宮城県 塩竈市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	60.79	100.00	3,542	

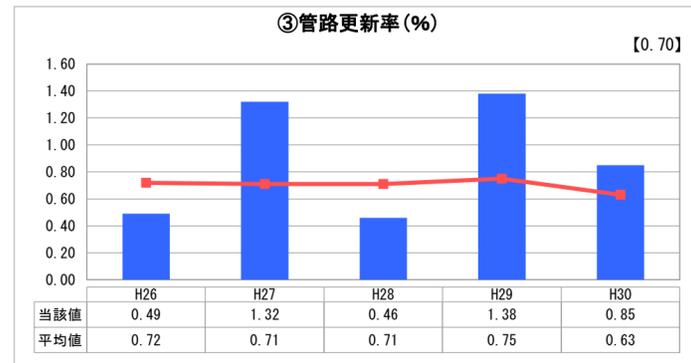
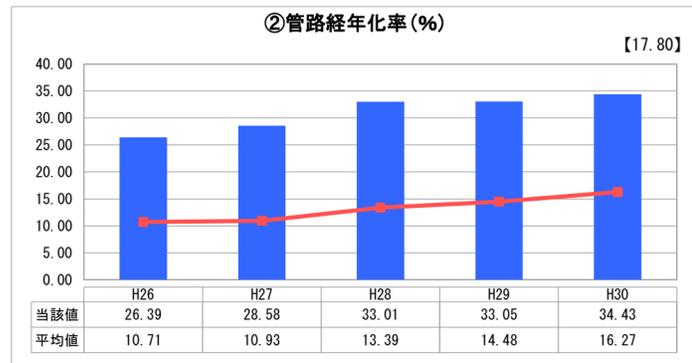
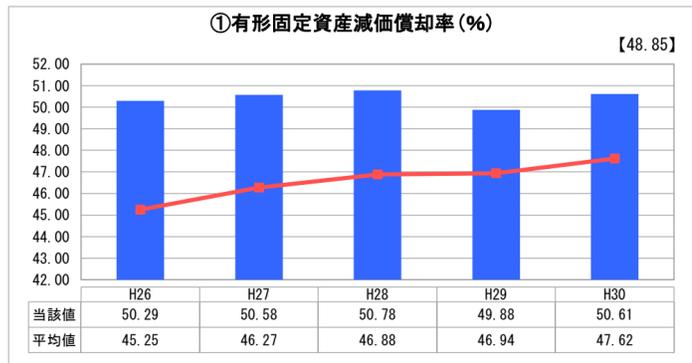
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
54,422	17.37	3,133.10
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
60,335	18.60	3,243.82

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
[]	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っており、健全な経営状況と言えますが、施設の老朽化への対策として今後も費用の縮減に努めていく必要があるといえます。
 ② 累積欠損金は発生しておらず、健全な経営状況にあるといえます。
 ③ 流動比率は、100%以上であることから短期債務に対する支払能力は十分にあるといえます。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、7年連続で減少しております。昨年度に比べ類似団体平均値に近づいておりますが、今後も企業債の発行を抑えることで企業債残高を減少させていく必要があります。
 ⑤ 料金回収率は、100%を上回っており、事業運営に必要な経費を料金収入で賄うことができています。
 ⑥ 給水原価は、有収水量が81千m³減少したことにより3ポイント上昇しております。また、類似団体平均値と比べて高い水準になっていることから、今後も事業の効率化を行い費用を抑えていく必要があります。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体平均値よりも上回っていますが、給水人口は年々減少傾向にあり、今後の水需要動向によっては、施設規模の縮小が必要と考えています。
 ⑧ 有収率は、昨年度と同程度であります。類似団体平均値を大幅に下回っていることから、今後も計画的に配水管の更新を行うと共に漏水防止対策を進めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を上回っており、類似団体と比べて老朽化が進んでいる状態といえます。
 ② 管路経年化率は、類似団体平均値を大幅に上回っており、類似団体と比べて老朽化が大幅に進んでいる状況といえます。
 ③ 管路更新率は、H29年度からの繰越事業もあり類似団体平均値を上回っていますが、平均値で比べれば全国平均値を下回っており、今後も管路更新を行っていく必要があります。

全体総括

本市水道事業の財政状況は概ね良好であります。有形固定資産減価償却率、管路経年化率が類似団体平均値より高く、類似団体と比較して必要な更新投資が大幅に遅れている状況となっております。また、これまで施設整備費用に企業債を充当したことから、給水収益に占める企業債残高が全国平均より高く、企業債に依存しない更新を増やす必要性が読み取れます。今後も老朽化した施設更新に多額の費用を要することから、規模の縮小を前提に中長期的な視点での財政・施設更新・管路更新計画により財源を確保しつつ、効果的な施設・管路の整備を行ってまいります。